

吹田操車場跡地健康・医療まちづくり市民グループ勉強会(第 5 回)

日時 2015 年 8 月 28 日 16.00-18.00

場所 吹田市岸一地区公民館 (大阪府吹田市)

出席者 (敬称略)

主催・進行

関西大学環境都市工学部教授

北詰 恵一

参加者

SMAC 関係者

専務理事

村田 正弘

理事

松村 人志

会員

廣谷 芳彦

(関連団体から)

谷口 豊基

吹田市民の団体の方等

約 15 名

内容

最初に北詰教授より経緯、前回(第 4 回)記録についての説明の後、吹田、摂津市の健康データ等に関し資料紹介があった。また、研究室学生による吹田市各地域の地形、集合密度と歩行の相関についての実験の解析が示された。

ついで参加者によるまちづくりに関する要望等が語られたが、およそ次の 2 点に集約された。

1. 長年操車場に広大な土地を占有され、煤煙などによる公害、街が分断されてきた。この機会に医療施設周辺に身体活動の活性化、維持を目的とした公園、付帯施設の整備を図る。
2. 国立循環器病センター、吹田市民病院という専門性の高い、高度な機能を有する医療機関ができるのは歓迎する。しかし、市民が日常で苦悩するのは、疼痛や症状についての相談に対応してもらい体制が不足している。ぜひ解決のきっかけを望む。

対応

今回参加したのは当地の SMAC 理事も参加している「吹田市・摂津市健康医療のまちづくり連絡かいぎ inUSK23」のメンバーの一員としてであった。「北大阪医療健康都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」は医療機関、医療関連団体によるものである。最終的には地域行政を担当する吹田、摂津両市が会議の報告や市民の考えを総合的に調整し計画、実施することになる。当 SMAC は国民の健康維持、啓発を推進する立場から市民の考えを聴く貴重な機会を得た。直接関わることは難しいが、両市からの要請など

があればできるだけ協力していきたいので推移をしばらく注視していきたい。
進行を務めた北詰教授は次回会合を 10 月に予定し、現在の(案)をまとめて市に提出する
と言われている。

資料 1 吹田市・大阪府に関わる健康データ 市民ができることと市に対してのべること
(第 5 回健康・医療まちづくり市民グループ勉強会)

資料 2 国民健康診査(特定健診)から見える吹田市の健康課題
(吹田市福祉保健部保健センター 平成 27 年 6 月作成)

資料 3 北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりに関する考え方につい
て 中間報告概要

入手の要望があればお問い合わせください。

報告者 村田 正弘